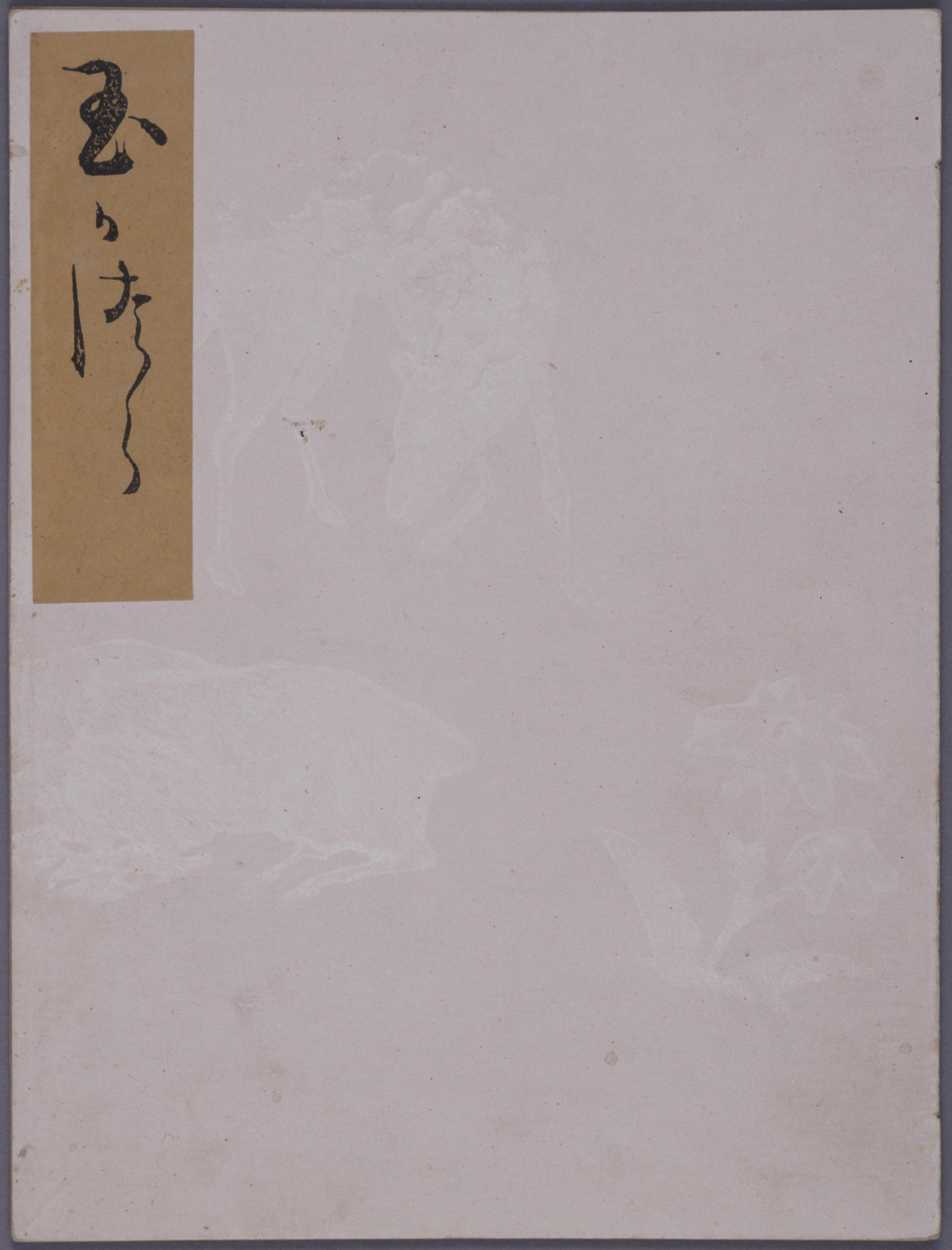

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-001
国立国会図書館

牢詞

是ハ法國一見ニ僧ニてゐづまき
此程ハ南都ニはひて靈佛灵社
殘里なく拜ミ見くわてんぎまる
見よわ初瀬まなく心さし後
為行上
なるゝ落葉乃為ニおふ宮のふ所
ことゝ殘ぐ思ひ清ゝ後ハ行末ハ
破上寺ニ拜ミ法乃志るしや

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-002
国立国会図書館

三輪乃杉山本申けハ程もなく
初瀬川小もほなにくわく
詞
急ぬ置そ見ゝや初瀬川に差て
心閑に案内さりや此思ひは
程もなく舩乃とまりや初瀬川
ぞほわりきこゆ
舩人も詠をこぬとり大崎乃濱

かなしくなにあらそこゝかもき
来にくはいまし乃呆しし哉
明さやもしら浪のよるへ何くか
さらぬ乃月ぞ見ハうきと
呆しし哉なし たゝ歌ひとり
見なれさかさしも袖乃きに
乃見 皆て行 秋のなかるゝ

あらしくれ〳〵はつせ川暮と乃
きひしくるも人やなくろぜ男の
ほともなみ浮船はかちなみたて
ぼあてりあしきたくひなく
上詞
不思議や此川ハ山川のさも
流早しくしてしりも見あきは早る
はしひをちいさき舟よ棹されは

人をこそ頼ハ女やそもりのかは
人みえましまれそ
上詞
いかに頼ハ此
初瀬寺によまうでくる者なるが又
此川ハ何とぞ名はなり流たる
海士小舟初瀬乃川と讀をんは
ぞ川路の通ひ江よしきよ不審ハ
あさせを綱ひそとよ
上詞
実蛍小舟

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-005
国立国会図書館

あたわ西方乃諭めもぬなるや
紅葉のさよと爰ハ末の二本乃
杉小はなみなわく　三ノ詞　是ぞう
二本と乃杉まちかへよくく
清境かへ　中ノ詞　杉ハ二本乃杉まて
以ひかはうや　下カル　二本乃杉のこち
と成昇れ　詞　是ぞ山川乃へ　天を

見ましや　此ハ何とよまれたる
吉哥まちかう　三ノ詞　是ハ光源氏乃
いましへ　玉の御ゆ　落内侍ことに
初衛者にまうてたまひしを
右近とも見まほして　詞　哥なわ
中　ども小あり　秋此杉ぬして
清隠よく弟ひ　紆ひかへ　序月　実や

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-006
国立国会図書館

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-007
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-008

国立国会図書館

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-009
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-010
国立国会図書館

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-011
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-012

国立国会図書館

[謡本] 玉かづら 1冊 WA7- 057-013

国立国会図書館